



2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 小野薬品工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4528 URL <https://www.ono-pharma.com/ja>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝野 十一
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 井村 竜太 (TEL) (06) 6263-5670
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)
(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	117,675	△1.9	30,690	△25.8	33,310	△21.4	24,835	△21.9	24,794	△22.1	36,595	△5.4
2024年3月期第1四半期	120,016	12.5	41,348	8.3	42,378	8.5	31,818	7.8	31,818	7.9	38,701	30.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	52.79	52.75
2024年3月期第1四半期	65.16	65.15

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,083,697	816,413	810,731	74.8
2024年3月期	913,668	798,604	792,961	86.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	450,000	△10.5	122,000	△23.7	123,000	△24.9	91,200	△28.8	91,000	△28.9	193.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 12社 (社名) Deciphera Pharmaceuticals, Inc. およびその子会社11社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	498,692,800株	2024年3月期	498,692,800株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	29,048,072株	2024年3月期	29,045,346株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	469,644,182株	2024年3月期1Q	488,332,722株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当第1四半期の経営成績の概況	2
(2) 当第1四半期の財政状態の概況	3
(3) 当第1四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(企業結合)	11
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
(1) 主な製品の売上収益と予想	13
(2) 売上収益の内訳	13
(3) 地域別の売上収益に関する情報	13
(4) 開発品（がん領域）の主な進捗状況	14
(5) 開発品（がん領域以外）の主な進捗状況	17
(6) 開発品（デシフェラ社パイプライン）の主な進捗状況	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当第1四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期 連結累計期間	2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	120,016	117,675	△2,340	△1.9%
営業利益	41,348	30,690	△10,658	△25.8%
税引前四半期利益	42,378	33,310	△9,068	△21.4%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	31,818	24,794	△7,024	△22.1%

【売上収益】

売上収益は、前年同期比23億円（1.9%）減少の1,177億円となりました。

- ・抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、薬価引き下げの影響により、前年同期比57億円（15.1%）減少の321億円となりました。
- ・糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」は、慢性腎臓病での使用が拡大したことにより、前年同期比46億円（26.4%）増加の222億円となりました。
- ・その他の主要製品では、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は69億円（前年同期比4.5%増）、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は50億円（同10.7%減）、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」は27億円（同3.9%増）、多発性骨髄腫治療剤「カイプロリス点滴静注用」は23億円（同3.0%増）、血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「パーサビブ静注透析用」は21億円（同0.3%減）、パーキンソン病治療剤「オンジェンティス錠」は19億円（同23.2%増）となりました。
- ・ロイヤルティ・その他は、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社からのロイヤルティ収入が増加した一方で、メルク社などからのロイヤルティ収入がロイヤルティ料率の低下に伴い減少したことなどにより、前年同期比11億円（2.9%）減少の383億円となりました。

【営業利益】

営業利益は、前年同期比107億円（25.8%）減少の307億円となりました。

- ・売上原価は、前年同期比5億円（1.7%）減少の297億円となりました。
- ・研究開発費は、研究に係る費用や臨床試験に係る開発費用が増加したことなどにより、前年同期比43億円（17.4%）増加の289億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、「フォシーガ錠」の売上拡大に伴うコ・プロモーション費用の増加に加え、デシフェラ社の買収に係る費用を計上したことなどにより、前年同期比44億円（18.8%）増加の279億円となりました。

【四半期利益】（親会社所有者帰属）

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の減少に伴い、前年同期比70億円（22.1%）減少の248億円となりました。

(2) 当第1四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 連結会計年度末	2025年3月期 第1四半期 連結会計期間末	対前連結会計年度末 増減額
資産合計	913,668	1,083,697	170,030
親会社の所有者に帰属する持分	792,961	810,731	17,770
親会社所有者帰属持分比率	86.8%	74.8%	
1株当たり親会社所有者帰属持分	1,688.43円	1,726.26円	

資産合計は、前期末に比べ1,700億円増加の1兆837億円となりました。

流動資産は、その他の金融資産の減少などから263億円減少の3,873億円となりました。

非流動資産は、その他の金融資産が減少した一方で、デシフェラ社買収に伴いのれんを計上したことなどから1,963億円増加の6,964億円となりました。

負債は、デシフェラ社買収の資金調達のために金融機関から借入を実施したことなどから1,522億円増加の2,673億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、剰余金の配当があった一方で、四半期利益の計上やその他の資本の構成要素の増加などから178億円増加の8,107億円となりました。

(3) 当第1四半期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2024年3月期 第1四半期 連結累計期間	2025年3月期 第1四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額
現金及び現金同等物の期首残高	96,135	166,141	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,638	813	10,451
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,190	△165,196	△156,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,536	131,855	149,391
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△36,364	△32,527	
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	661	635	
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,433	134,248	

当第1四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は、325億円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人所得税等の支払額219億円や仕入債務及びその他の債務の減少額77億円などがあった一方で、税引前四半期利益333億円などがあった結果、8億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入2,004億円などがあった一方で、子会社の取得による支出3,648億円などがあった結果、1,652億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額174億円などがあった一方で、短期借入金の増加額1,500億円があった結果、1,319億円の収入となりました。

(4) 今後の見通し

通期の業績につきましては、2024年5月9日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、デシフェラ社買収による当社グループの業績への影響は現在精査中です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的なスタンダードに基づく財務情報の開示により比較可能性を向上させ、株主、投資家や取引先など様々なステークホルダーの皆さまの利便性をはかることを目的として、2014年3月期から国際会計基準（IFRS）を適用しております。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	166,141	134,248
売上債権及びその他の債権	136,066	150,354
有価証券	—	16,670
その他の金融資産	38,454	3,623
棚卸資産	48,629	53,282
その他の流動資産	24,306	29,111
流動資産合計	413,596	387,288
非流動資産		
有形固定資産	104,752	108,673
のれん	—	355,881
無形資産	57,288	56,482
投資有価証券	121,147	121,301
持分法で会計処理されている投資	115	116
その他の金融資産	173,113	8,174
繰延税金資産	40,863	42,262
その他の非流動資産	2,795	3,521
非流動資産合計	500,072	696,409
資産合計	913,668	1,083,697

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	60,691	60,684
借入金	—	150,000
リース負債	2,310	2,889
その他の金融負債	2,273	6,412
未払法人所得税	22,093	9,496
その他の流動負債	16,257	23,265
流動負債合計	103,624	252,745
非流動負債		
リース負債	6,552	9,718
その他の金融負債	0	0
退職給付に係る負債	3,294	3,251
繰延税金負債	1,013	1,022
その他の非流動負債	580	548
非流動負債合計	11,439	14,539
負債合計	115,063	267,285
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,458	17,469
自己株式	△63,233	△63,234
その他の資本の構成要素	53,194	63,454
利益剰余金	768,183	775,684
親会社の所有者に帰属する持分	792,961	810,731
非支配持分	5,644	5,682
資本合計	798,604	816,413
負債及び資本合計	913,668	1,083,697

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	120,016	117,675
売上原価	△30,171	△29,671
売上総利益	89,844	88,004
販売費及び一般管理費	△23,483	△27,886
研究開発費	△24,579	△28,857
その他の収益	118	37
その他の費用	△553	△609
営業利益	41,348	30,690
金融収益	1,273	2,695
金融費用	△241	△75
持分法による投資損益	△2	0
税引前四半期利益	42,378	33,310
法人所得税	△10,560	△8,474
四半期利益	31,818	24,835
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	31,818	24,794
非支配持分	0	42
四半期利益	31,818	24,835
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	65.16	52.79
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	65.15	52.75

要約四半期連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	31,818	24,835
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	8,479	1,257
確定給付制度の再測定	△24	△51
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	5	△1
純損益に振り替えられることのない 項目合計	8,460	1,206
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	1,331	12,316
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値 の純変動	△2,908	△1,762
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	△1,577	10,554
その他の包括利益合計	6,883	11,760
四半期包括利益合計	38,701	36,595
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	38,675	36,545
非支配持分	26	50
四半期包括利益合計	38,701	36,595

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2023年4月1日残高	17,358	17,080	△54,161	51,701	709,890	741,869	5,944	747,812	
四半期利益					31,818	31,818	0	31,818	
その他の包括利益				6,857		6,857	26	6,883	
四半期包括利益合計	—	—	—	6,857	31,818	38,675	26	38,701	
自己株式の取得			△0			△0		△0	
剰余金の配当					△18,068	△18,068	△9	△18,077	
株式報酬取引		12				12		12	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△101	101	—		—	
所有者との取引額等合計	—	12	△0	△101	△17,967	△18,056	△9	△18,065	
2023年6月30日残高	17,358	17,092	△54,161	58,457	723,741	762,487	5,961	768,449	

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2024年4月1日残高	17,358	17,458	△63,233	53,194	768,183	792,961	5,644	798,604	
四半期利益					24,794	24,794	42	24,835	
その他の包括利益				11,752		11,752	8	11,760	
四半期包括利益合計	—	—	—	11,752	24,794	36,545	50	36,595	
自己株式の取得			△0			△0		△0	
剰余金の配当					△18,786	△18,786	△11	△18,797	
株式報酬取引		11				11		11	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△1,493	1,493	—		—	
所有者との取引額等合計	—	11	△0	△1,493	△17,293	△18,776	△11	△18,787	
2024年6月30日残高	17,358	17,469	△63,234	63,454	775,684	810,731	5,682	816,413	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	42,378	33,310
減価償却費及び償却費	4,530	4,379
減損損失	19	—
受取利息及び受取配当金	△1,271	△1,545
支払利息	23	62
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,316	100
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△8,111	△6,956
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△8,569	△7,748
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	△116
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2,783	△451
その他	2,495	477
小計	23,415	21,513
利息の受取額	8	19
配当金の受取額	1,233	1,198
利息の支払額	△23	△62
法人所得税等の支払額	△34,270	△21,854
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,638	813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,674	△1,544
有形固定資産の売却による収入	840	5
無形資産の取得による支出	△6,068	△1,231
投資の取得による支出	△1,187	△385
投資の売却及び償還による収入	315	3,561
定期預金の預入による支出	△344	△394
定期預金の払戻による収入	344	200,394
子会社の取得による支出	—	△364,816
その他	△1,416	△785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,190	△165,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	—	150,000
配当金の支払額	△16,827	△17,436
非支配持分への配当金の支払額	△9	△11
リース負債の返済による支出	△700	△697
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,536	131,855
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,364	△32,527
現金及び現金同等物の期首残高	96,135	166,141
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	661	635
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,433	134,248

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの事業は医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(企業結合)

当社は、米国のバイオ医薬品企業 Deciphera Pharmaceuticals, Inc. (以下「デシフェラ社」)との間で、買収のために新たに設立した完全子会社を通じて、現金を対価として同社を買収(以下「本買収」)することで合意し、2024年4月に契約を締結しました。この契約に基づき、2024年6月11日(米国東部時間)に同社の買収が完了し、同社を当社の完全子会社としました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の概要

被取得企業の名称	Deciphera Pharmaceuticals, Inc.
被取得企業の事業の内容	医薬品の研究開発、商業化

② 取得日

2024年6月11日(米国東部時間)

③ 取得した議決権付資本持分の割合

100%

④ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を支払対価とする株式取得

⑤ 企業結合の主な理由

当社はグローバルスペシャリティファーマとして、独創的かつ革新的な新薬を世界に届けることを目指しています。中長期成長戦略である「パイプライン強化とグローバル開発の加速」および「欧米自販の実現」を見据え、医療ニーズの高いがんや免疫疾患、中枢神経疾患、スペシャリティ領域を重点研究領域に定め、医療現場に革新をもたらす新薬の創出に取り組んでいます。本買収により、がん領域における優れた研究開発能力と欧米でのコマーシャルケイパビリティを有するデシフェラ社をパートナー企業として迎え入れ、当社グループのパイプラインの拡充およびグローバル展開を加速させていきます。

デシフェラ社は、がんを対象とした革新的な医薬品の研究・開発・販売に注力しており、自社で創製した経口キナーゼ阻害剤からなる豊富なパイプラインを有しています。KIT阻害剤であるQINLOCK®(Ripretinib)は消化管間質腫瘍(GIST)の4次治療の薬剤として米国、欧州および中国を含む40ヶ国以上で販売されています。加えて、CSF-1R阻害剤であるVimseltinibは腱滑膜巨細胞種(TGCT)を対象とした第Ⅲ相臨床試験(MOTION study)において、主要評価項目およびその他副次的評価項目を統計学的有意に達成しており、欧米での申請を2024年に予定しています。また、デシフェラ社は、米国および主要な欧州諸国において自社での販売網を構築しており、この販売網はVimseltinibにおいても活用されます。

本買収により当社は固形がん領域のパイプラインを拡充し、特にQINLOCK®とVimseltinibの獲得によって短中期的なグループの収益増加が期待できます。また、デシフェラ社の欧米での開発・販売能力を獲得し、欧米自販体制を強化できます。さらに、デシフェラ社の創薬能力を活用することで、当社グループのオンコロジー領域において研究開発のさらなる加速が期待できます。

(2) 取得日における取得資産、引受負債および支払対価の公正価値

(単位：百万円)

	金額
現金及び現金同等物	15,433
売上債権及びその他の債権	6,729
有価証券	16,650
棚卸資産	4,478
有形固定資産	5,182
投資有価証券	1,156
その他の資産	4,332
仕入債務及びその他の債務	△8,941
リース負債	△3,890
その他の負債	△5,790
取得資産及び引受負債の公正価値（純額）	35,338
ベース・アジャストメント	1,886
のれん（注）2	344,911
合計	382,135
支払対価の公正価値の合計	382,135

(注) 1 当第1四半期連結会計期間末において、発生したのれんの金額、取得日に受け入れた資産および引き受けた負債の金額等については、取得日における識別可能資産および負債の特定を精査中であり、取得対価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理を行っております。

2 のれんの内容は、主に期待される将来の収益力に関連して発生したものであります。なお、認識されたのれんのうち、税務上損金算入が見込まれるものはありません。

(3) キャッシュ・フロー情報

(単位：百万円)

	金額
支払対価の公正価値の合計	382,135
被取得企業が保有する現金及び現金同等物	△15,433
ベース・アジャストメント	△1,886
子会社の取得による支出	364,816

(4) 取得関連費用

3,288百万円

取得関連費用は、前連結会計年度および当第1四半期連結累計期間において連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上収益と予想

(単位：億円)

製品名	2025年3月期 第1四半期連結累計期間			当連結会計年度		
	実績	前年同期比		予想	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
オプジーボ点滴静注	321	△57	△15.1%	1,250	△205	△14.1%
フォシーガ錠	222	46	26.4%	830	69	9.0%
オレンシア皮下注	69	3	4.5%	270	12	4.5%
グラクティブ錠	50	△6	△10.7%	185	△27	△12.7%
ベレキシブル錠	27	1	3.9%	100	△2	△2.1%
カiproリス点滴静注用	23	1	3.0%	95	4	3.9%
パーサビブ静注透析用	21	△0	△0.3%	85	3	3.3%
オンジェンティス錠	19	4	23.2%	75	12	18.8%

- (注) 1. 仕切価格(出荷価格)ベースでの売上収益を開示しております。
 2. 当連結会計年度の予想売上収益については、現在承認されている適応症のみを対象としております。

(2) 売上収益の内訳

(単位：億円)

	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	2025年3月期 第1四半期連結累計期間
製品商品	805	793
ロイヤルティ・その他	395	383
合計	1,200	1,177

- (注) 「ロイヤルティ・その他」の中には、ブリストル・マイヤーズ スクイブ社からの「オプジーボ点滴静注」に係るロイヤルティ収入が、前第1四半期連結累計期間には226億円、当第1四半期連結累計期間には285億円、メルク社からの「Keytruda®」に係るロイヤルティ収入が、前第1四半期連結累計期間には122億円、当第1四半期連結累計期間には63億円、それぞれ含まれております。

(3) 地域別の売上収益に関する情報

(単位：億円)

	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	2025年3月期 第1四半期連結累計期間
日本	782	770
米州	371	366
アジア	35	35
欧州	11	5
合計	1,200	1,177

- (注) 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

(4) 開発品（がん領域）の主な進捗状況

2024年7月18日現在

<承認取得開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	自社*) /導入
ビラフトビカプセル /エンコラフェニブ	効能 追加	甲状腺がん* ¹ /BRAF阻害作用	カプセル	日本	導入 (ファイザー社)
メクトビ錠 /ビニメチニブ	効能 追加	甲状腺がん* ¹ /MEK阻害作用	錠	日本	導入 (ファイザー社)

2024年3月期決算発表からの変更点

※1 : 「ビラフトビカプセル」および「メクトビ錠」について、日本で2剤併用療法による「がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺がん」「BRAF遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺未分化がん」を効能・効果とした承認を取得しました。

<臨床試験中開発品>

<オブジーボ>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) /導入
オブジーボ点滴静注 /ニボルマブ	効能 追加	肝細胞がん	注射	日韓	Ⅲ	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能 追加	膀胱がん	注射	日韓台	Ⅲ	自社 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

<ヤーボイ>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) /導入
ヤーボイ点滴静注液* /イピリムマブ	効能 追加	胃がん	注射	日韓台	Ⅲ	導入 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能 追加	尿路上皮がん	注射	日韓台	Ⅲ	導入 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	効能 追加	肝細胞がん	注射	日韓	Ⅲ	導入 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)

★ : 「オブジーボ」との併用試験

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

<ONO-4538皮下注製剤> *) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) /導入
ONO-4538HSC	新有効成分	固形がん	注射	日本	I	導入 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
<I-0関連> *) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) /導入
ONO-4578*	新有効成分	胃がん／プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日韓台	II	自社
ONO-4482* (BMS-986016) /Relatlimab	新有効成分	肝細胞がん ／抗LAG-3抗体	注射	日韓台	II	導入 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
	新有効成分	悪性黒色腫 ／同上	注射	日本	I / II	導入 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7427*	新有効成分	固形がん／抗CCR8抗体	注射	日本	I / II	導入 (プリストル・マイヤーズ スクイブ社と共同開発)
ONO-7475* /Tamnorzatinib	新有効成分	膵がん ／Ax1/Mer阻害作用	錠	日本	I	自社
ONO-4578*	新有効成分	結腸・直腸がん ／プロスタグランジン受容体 (EP4) 拮抗作用	錠	日本	I	自社
	新有効成分	膵がん／同上	錠	日本	I	自社
	新有効成分	非小細胞肺癌 ／同上	錠	日本	I	自社
ONO-7913* /マグロリマブ	新有効成分	膵がん／抗CD47抗体	注射	日本	I	導入 (ギリアド社)
	新有効成分	結腸・直腸がん／同上	注射	日本	I	導入 (ギリアド社)
ONO-7914*	新有効成分	固形がん／STINGアゴニスト	注射	日本	I	自社

★ : 「オプジーボ」との併用試験

2024年3月期決算発表からの変更点

※オプジーボとPARP阻害薬「Rucaparib」との併用療法について、Pharma&社主導の「卵巣がんの初回化学療法後の維持療法」を対象とした国際共同第Ⅲ相試験に日本、韓国および台湾から参加していましたが、主要評価項目の無増悪生存期間（PFS）を達成することができませんでした。

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

<その他>						
*) : 共同研究により創出された化合物を含む						
製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) /導入
ONO-4059 /チラブルチニブ塩酸塩	新有効成分	中枢神経系原発リンパ腫／BTK阻害作用	錠	米国	II	自社
ONO-7475 /Tamnorzatinib	新有効成分	EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌 ／Ax1/Mer阻害作用	錠	日本	I	自社
ONO-4578	新有効成分	ホルモン受容体陽性HER2陰性乳がん／プロスタグランジン受容体(EP4)拮抗作用	錠	日本	I	自社
ONO-4685	新有効成分	T細胞リンパ腫 ／PD-1×CD3二重特異性抗体	注射	日米	I	自社
ONO-7018	新有効成分	非ホジキンリンパ腫、慢性リンパ性白血病 ／MALT1阻害作用	錠	米国	I	導入 (コーディア社)
ONO-8250	新有効成分	HER2陽性固形がん ／iPS細胞由来HER2 CAR-T細胞療法	注射	米国	I	自社 (フェイト社と共同開発)

なお、がん領域の薬剤において、同じ予定効能（がん腫）の場合は、最も進んでいるフェーズ（臨床ステージ）を記載しております。

(5) 開発品（がん領域以外）の主な進捗状況

2024年7月18日現在

<臨床試験中開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
ONO-2017 /Cenobamate	新有効成分	てんかん強直間代発作 ／電位依存性ナトリウム電 流阻害/GABA _A イオンチャネ ル機能増強作用	錠	日本	III	導入 (エスケー社)
	新有効成分	てんかん部分発作 ／同上	錠	日本	III	導入 (エスケー社)
ベレキシブル錠 /チラブルチニブ塩酸 塩	効能 追加	天疱瘡／BTK阻害作用	錠	日本	III	自社
ONO-2910	新有効成分	糖尿病性多発神経障害 ／シュワン細胞分化促進作 用	錠	日本	II	自社
	新有効成分	糖尿病性多発神経障害 ／同上	錠	米国	I	自社
	新有効成分	化学療法誘発末梢神経障 害／同上	錠	日本	II	自社
ONO-2808	新有効成分	多系統萎縮症 ／S1P5受容体作動作用	錠	日米	II	自社
ONO-4685	新有効成分	自己免疫疾患 ／PD-1×CD3二重特異性抗 体	注射	日欧	I	自社
ONO-2020	新有効成分	神経変性疾患／エピジェネ ティクス制御作用	錠	米国	I	自社
ONO-1110	新有効成分	疼痛／内因性カンナビノイ ド制御作用	経口	日本	I	自社

(6) 開発品（デシフェラ社パイプライン）の主な進捗状況

2024年7月18日現在

<開発品>

*) : 共同研究により創出された化合物を含む

製品名／開発コード ／一般名	区分	予定効能／薬理作用	剤型	地域	ステージ	自社*) / 導入
QINLOCK /Ripretinib	新有効成分	消化管間質腫瘍 4次以降 ／KIT阻害作用	錠	北米、欧、 豪など	承認	自社 (デシフェラ社)
	効能追加	消化管間質腫瘍 2次 ／同上	錠	北南米、欧、 豪など	Ⅲ	自社 (デシフェラ社)
DCC-3014 /Vimseltinib	新有効成分	腱滑膜巨細胞腫 ／CSF-1R阻害作用	錠	北米、欧、 豪、香港	Ⅲ	自社 (デシフェラ社)
DCC-3116	新有効成分	固形がん (Sotorasib併用) ／ULK阻害作用	錠	米国	I / II	自社 (デシフェラ社)
	新有効成分	固形がん (Ripretinib併用) ／同上	錠	米国	I / II	自社 (デシフェラ社)
DCC-3084	新有効成分	固形がん ／Pan-RAF阻害作用	錠	米国	I / II	自社 (デシフェラ社)